

# 8 局 区 別 予 算

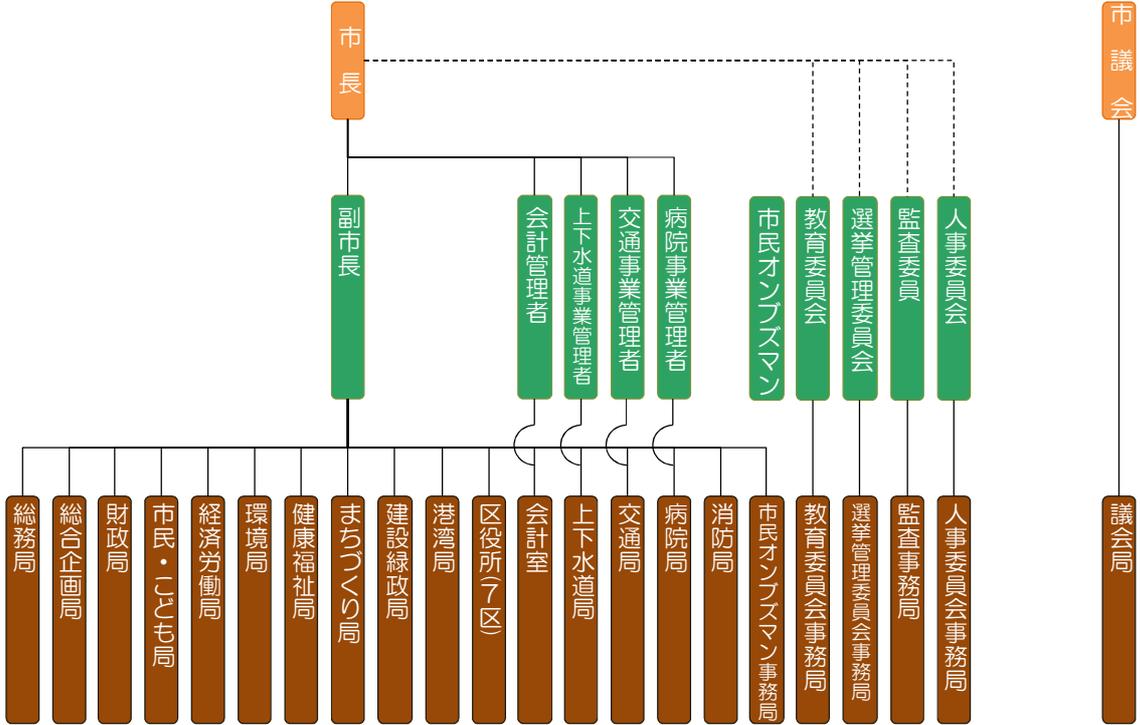
市長は、その権限に属する仕事を分担するため、条例で局という内部組織を設けています。

また、市民の皆様にご密接に関連する業務については、市内の区域を分けて区役所を設けています。

ここでは、主要な事務事業を所管する局区別に、主な事業をご紹介します。



## 組 織 図



# 総務局

## <予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2045 内) 21301

**40,568,615千円** (対前年度比: +5.8%)

## <主な事業>

### 防災行政無線設備の再整備

257,128千円

- 防災行政無線設備の老朽化対策及び機能向上を図るため、災害情報等を一齐に音声で伝達する同報系無線戸別受信機を更新するとともに、災害時に市役所と区役所や他自治体等との間の双方向の通信手段となる多重系・衛星系無線の再整備に向けた実施設計を行います。
- 防災行政無線設備を円滑に運用するため、適切な保守、管理、補修等を実施します。

### 防災拠点の整備

1,338,809千円

- 災害時に避難所となる全ての市立小・中学校等に備蓄倉庫を設置するため、27年度は69か所を整備するとともに、公的備蓄品の調達等を行います。



備蓄倉庫

### 国土強靱化地域計画の策定(新規)

5,764千円

- 大規模な自然災害に対する脆弱性の評価及び本市の強靱化の推進のために必要となる施策などを取りまとめた「国土強靱化地域計画」を策定します。

### 市役所本庁舎の建替え等の取組

1,560,570千円

- 本庁舎の解体に向けた調査や、建替基本計画の策定などに取り組みます。
- 当面の安全確保・機能維持のため、本庁舎等仮移転及び第2庁舎耐震補強工事を行います。

### 情報化の推進

53,962千円

- ICT(情報通信技術)や社会環境の変化を踏まえた新たな情報化基本計画を策定します。
- 情報システムの統合や連携による内部事務の効率化など、ICTを効果的に活用した行政運営を推進するため、新たに情報システム全体最適化ポリシーを策定します。
- 情報システムの評価、指導、調整による円滑なシステム開発・運用及び情報セキュリティ対策を推進します。

### マイナンバー制度導入に向けた基盤整備

257,873千円

- 行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会の実現を目的とするマイナンバー制度導入に向けて、情報連携に必要な新たな機器等を整備するとともに、各庁内情報システムの情報連携を担うシステム連携基盤の改修を行います。

## 公衆無線LAN環境整備の推進

9,942千円

- 市民の利便性向上や行政サービスの高度化のため、区役所や防災情報ステーション等の既設公衆無線LAN環境の運用を行います。また、災害時の避難所となる小中学校をはじめ、市内の公衆無線LANアクセスポイントを拡充します。

## シティプロモーションの推進

40,401千円

- 地域資源の掘り起こしや魅力づくりに取り組むとともに、様々なメディア等を活用して川崎の魅力を市内外へ積極的に情報発信し、都市イメージの向上を図ります。
- 新たな「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の策定に伴い、より効果的・効率的にシティプロモーションを推進するため、ブランドメッセージの設定・活用等、新たな取組を推進していきます。

## 国際交流の推進

239,558千円

- 姉妹・友好都市を提携している海外8都市との文化芸術・経済・環境・教育など幅広い分野での交流をはじめ、相互の発展につながる互恵的な関係の構築に向けて、海外諸都市等との交流を推進します。
- 国際交流の拠点施設である国際交流センターを活用し、市民主体の交流・親善活動を支援します。
- グローバル化が進む中、様々な分野にわたる国際施策を総合的に推進するため、「(仮称)国際施策推進プラン」を策定します。



姉妹都市大学生による市長表敬

## 区民車座集会の実施

349千円

- 市民の皆さんの声がしっかり伝わる身近な市政の実現のため、市長が直接意見を聞く「区民車座集会」を各区で開催します。



区民車座集会の様子

## 総合コンタクトセンターの運営

144,958千円

- 電話、電子メールなど様々な媒体による、市政に関する問い合わせ、意見、相談等を一元的に受け付け、迅速かつ的確に対応し、可能な限り回答するために、総合コンタクトセンターを設置し「サンキューコールかわさき」及び代表電話交換を運営します。

## 行財政改革の推進

8,870千円

- 「行財政運営に関する改革プログラム」に基づき、公共サービスにおける民間部門の活用や効率的な行政運営に向けた組織体制の整備などの市役所の内部改革に継続して取り組むとともに、「新たな総合計画」の策定と連携し、行財政改革に関する計画の策定に向けた取組を進めます。

# 総合企画局

<予算額> 問い合わせ先:広域企画課 200-2020 内)23101

1,333,541千円 (対前年度比:△18.3%)

<主な事業>

## 新たな総合計画の策定に向けた取組 43,369千円

- 避けることのできない人口減少への転換や社会保障関連経費の増大など、将来を見据えて乗り越えなければならない課題が山積する中で、多様化する市民ニーズに対応し、持続的に発展していくため、今後の市政運営の礎となる「新たな総合計画」を策定します。
- 27年度末の計画策定に向けて、様々な御意見をいただきながら検討を進めます。
  - ・市民目線の意見を聴取する「市民検討会議」の実施
  - ・専門的な意見を聴取する「有識者会議」の実施
  - ・パブリックコメントや出前説明会の実施など
- 市政だより特別号や総合計画ニュースの発行等、総合計画の策定段階に合わせて、市民の皆様に広く、わかりやすい情報発信を実施します。
- 計画の進行管理を適切に行うため、成果指標の設定及び評価制度の構築に向けた調査・検討を実施します。



市民検討会議の様子

## 臨海部の活性化に向けた取組 33,107千円

- 臨海部への土地利用の誘導を効果的に展開するため、立地企業の動向把握、情報管理を行うとともに、交通アクセス改善に取り組みます。
- 浮島地区の本格的土地利用に向けた調査・検討等を実施します。
- 臨海部における本市の取組、臨海部立地企業、まちの魅力等を多角度からPRすることにより、臨海部のブランド化に取り組みます。

## 国際戦略拠点地区整備の推進 242,908千円

- 殿町国際戦略拠点「キング スカイフロント」において、国際的な課題の解決に貢献しながら日本の持続的な成長を牽引するため、「国家戦略特区制度」・「国際戦略総合特区制度」等を活用したライフサイエンス・環境分野の研究開発拠点の形成に取り組みます。
- 「キング スカイフロント」進出企業・研究機関と連携し、世界に向けたプロモーションを行い、エリアの価値向上に取り組みます。
- 国際戦略総合特区区域内で実施するライフサイエンス分野の共同研究に対して、補助金を交付し、特区区域内の研究開発を促進します。
- 国際戦略拠点の形成を促進する中核施設を中心とした連携推進等に取り組みます。
- 塩浜3丁目周辺地区において、整備基本方針に基づく土地利用の検討を行うとともに、土地利用を支える基幹的道路の整備に取り組みます。
- 羽田連絡道路の早期整備に向けた取組を推進します。



殿町国際戦略拠点「キング スカイフロント」

## スマートシティ戦略の推進

42,473千円

○持続可能な社会の実現に向けて、エネルギーの最適利用による低炭素化をはじめ、市民生活の安全・安心の確保や利便性の向上等につなげるため、「川崎市スマートシティ推進方針（27年3月策定予定）」に基づき、取組を推進します。

・川崎駅周辺地区スマートコミュニティの取組

既成市街地における地域主体のエネルギーマネジメント実証事業の推進・効果検証及びICTを活用した防災ソリューション実証事業の検討・実施等

・小杉駅周辺地区スマートコミュニティの取組

都市型住宅が集積する地区の特徴をふまえ、市民参加型の省エネ行動等の取組を通じた実証事業の実施・効果検証及び持続可能なビジネスモデル構築に向けた検討等

・川崎臨海部水素ネットワークの構築

「水素社会の実現に向けた川崎水素戦略（27年3月策定予定）」に基づく、新たな水素の大量貯蔵・輸送技術を活用した水素ネットワークの構築に向けた取組の推進、リーディングプロジェクトの新規創出・推進、燃料電池自動車（FCV）の導入等

## 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組（新規）

3,000千円

○東京オリンピック・パラリンピックに向けた総合的な取組を推進します。

とりわけ、パラリンピックの支援に向けた取組を通じて、関係団体と連携し、障害者スポーツのさらなる普及・啓発を図るため、イベント等を実施するとともに、子どもや高齢者、障害者など多様な人々がともに生き生きと暮らすことができるまちづくりを推進します。



## 多様な主体の参加・協働による市民自治の推進

18,591千円

○「川崎市協働・連携のあり方検討委員会」における調査・審議等を通じて、協働・連携に関する市の基本方針を策定するとともに、必要な環境整備を進め、暮らしやすい地域社会の実現に向けた市民自治のまちづくりの取組を推進します。

○協働・連携を推進する具体的な仕組みづくりに向けた、人材マッチング事業のモデル実施等を行います。また、これらの取組を通じて、有償ボランティアの検討を進めます。

○市民が主役のまちづくりを推進するため、市民による市政への参加の促進に向けた調査・検討などを行い、自治基本条例に規定する自治運営の基本原則に基づく制度・仕組みを適切に運用するとともに、必要な情報収集及び調査研究を行います。

○自立的な自治体運営により、地域課題の解決を進めるとともに、より充実した住民サービスを提供できるよう、地方分権改革の推進に向けた調査・検討を行います。

## 国勢調査の実施

826,346千円

○27年10月1日を調査日として、国勢調査を実施します。調査は5年ごとに日本国内に住んでいるすべての人（外国人を含む）及び世帯を対象に実施するもので、今回、市内では約147万人、68万世帯が対象となります。

○27年調査からインターネットによる回答方式を導入し、回答の利便性を向上させます。



# 財 政 局

## <予 算 額>

問い合わせ先:庶務課 200-2175 内) 24101

**6,341,274千円** (対前年度比: +10.4%)

## <主な事業>

### 資産マネジメントの取組の推進

43,795千円

○施設老朽化に伴う将来的な財政負担の増大・集中や、本格的な少子高齢社会の到来等による行政ニーズの変化に的確に対応していくため、本市の公共施設等総合管理計画である「かわさき資産マネジメントカルテ(資産マネジメントの第2期取組期間の実施方針)」に基づく資産マネジメントの取組を推進します。

- ・庁舎等建築物の長寿命化工事の優先度判定など予防保全による施設の長寿命化の推進
- ・広域的観点及び施設単位の使用価値・市場価値の観点からの資産保有の最適化の推進
- ・多様な効果創出に向けた財産の有効活用の推進

### 税務事務の運営及び市税収入確保に向けた取組の推進

850,937千円

○マイナンバー制度の導入に備えた市税システムの改修等を的確に実施し、より適正・公平な税務事務の執行に努めます。

○納期限経過のお知らせ、市税のコンビニ収納の実施等に加え、初期末納対策強化のため、納税課の体制を整え、より一層の市税収入確保を図ります。

## IR(投資家向け広報)の取組

市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備のために必要となる資金の一部を借り入れるために、定期的に「川崎市債」を発行しています。この市債は、個人や機関投資家の皆様にご購入いただけるものとなっています。

市債を安心してご購入いただくためにも、個人投資家向けの「市債投資セミナー」や機関投資家向け説明会の開催、IRニュースの発信、ホームページにおける情報提供などにより、市の取組や財政状況、市債に関する情報を積極的に発信しています。

平成27年度市債(個人向け)の発行は5年債・10年債を予定しています。

川崎市ホームページ「投資家情報(IR)」

川崎市 投資家情報

検索

<http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

QRコード対応の携帯電話からもご覧いただけます。

QRコード

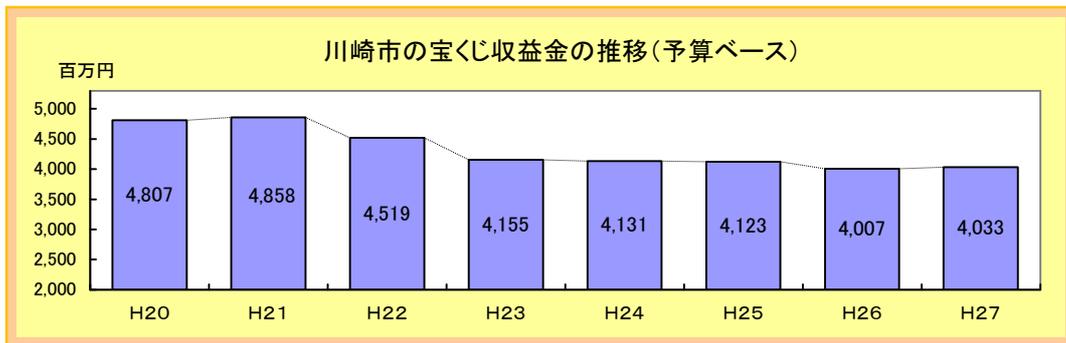
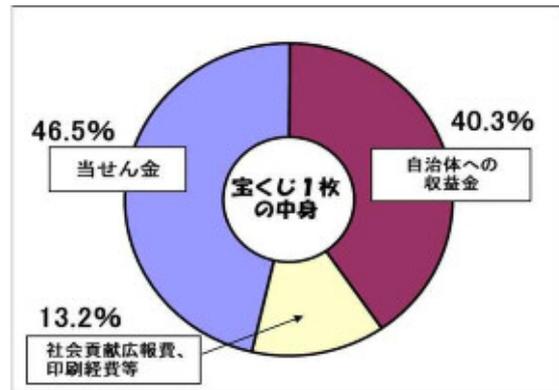


## 宝くじ収益金について

宝くじは、販売実績の40%程度が自治体への収益金となり、発行・発売団体である全国47都道府県、20政令指定都市それぞれの売上げに応じて配分されます。

宝くじ収益金は、公共事業等に充てるものとされ、本市では、小児医療費の助成や、市立図書館の蔵書の充実、公園施設の改修などの身近なまちづくりに役立てています。

〔宝くじ1枚の中身（平成25年度決算）〕



### 平成27年度 宝くじ収益金を充当する主な事業



#### 子育て環境・安心いきいき社会 約19億円

- 地域子育ての支援
- 小児医療費の助成
- 要介護者生活支援ヘルパー派遣
- 予防接種事業
- 妊婦の健康診査
- 特定不妊治療費の助成
- (高齢者)日常生活用具の給付事業
- がん検診事業

#### 都市整備・防災対策 約7億円

- 災害時医療救護対策
- 道路の維持補修
- 救急車両、消防車両の購入
- 街路の整備
- 公園施設の改修
- 消防副読本の作成

#### その他事業 約14億円

- ネット窓口かわさきの運用管理
- 芸術文化の振興
- 資源物の分別収集
- 多摩川を活用したスポーツ大会の開催
- 農林業の振興
- 市立図書館の蔵書の充実

宝くじのお買い求めはぜひ川崎市内で！

# 市民・子ども局

## <予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2255 内)26101

6,016,143千円 (対前年度比:△9.0%)

## <主な事業>

### 地域の安全・安心なまちづくりに向けた取組

66,109千円

- 川崎駅東口等の繁華街の客引き行為について、夜間巡回活動や広報啓発活動を実施し、市民が公共の場所を安心して安全に利用できる環境の確保を行います。(新規)
- 27年4月に鹿島田・新川崎駅周辺を路上喫煙防止重点区域として新たに指定するとともに、28年4月には武蔵溝ノ口駅周辺重点区域の拡大を図り、路上喫煙防止に向けて、各種広報・啓発活動等を行います。



路上喫煙防止に向けた巡回活動

### 交通安全対策の推進

56,560千円

- 市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で住みよい社会の実現及び交通ルール遵守と交通マナー向上に向けた、広報・啓発活動を実施します。



交通安全教室

### 魅力ある広報の推進

273,452千円

- 幅広い年齢層の市民が手に取りたくなるような市政だよりのレイアウト変更や全面カラー化を実施します。(拡充)
- ホームページ等の各種広報媒体を活用して、川崎市政情報を効率的・効果的に市内外に発信していきます。



川崎市ホームページトップページ画面

### 人権施策の推進

51,710千円

- 人権を尊重し、共に生きる社会を築くため、平等と多様性(ダイバーシティ)を尊重しながら人権施策を総合的に推進します。
- 川崎市人権施策推進基本計画「人権かわさきイニシアチブ」に掲げる各種施策を効果的に実施するため、人権に関する市民意識調査を実施します。



かわさき人権フェア

## 音楽のまちづくりの推進

86,685千円

- 市内にある音楽資源や民間の活力を活用し、音楽を中心とした芸術や市民文化の創造を通して、まちに音楽があふれ、豊かな心を育む、「音楽のまちづくり」を推進します。
- これまで実施してきた「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき」の成果を踏まえ、新たなジャズ・フェスティバルを開催します。



アジア交流音楽祭交流ステージ

## 映像のまち・かわさきの推進

29,718千円

- 映画大学や4つのシネコン等市内にある映像資源を活かし、「映像のまち・かわさき」の魅力を市内外に発信します。
- 第70回毎日映画コンクール表彰式の開催を支援するとともに、70回目を記念して、本市にゆかりのある映画作品の市民投票を行い、表彰式において仮称「川崎市民賞」の贈呈を行います。また、「映像のまち・かわさき」推進フォーラムと連携して様々な関連イベントを発信することで、一層の盛り上がりとし市内外からの集客及び地域活性化を図ります。



「映像のまち・かわさき」  
フェスティバル in アゼリア

## 多摩川を活用したスポーツ大会の開催

21,386千円

- 川崎国際多摩川マラソンなど、多摩川を活用したスポーツ大会を開催し、市民と全国からの参加者との交流を図るとともに、市民のスポーツに対する興味・関心を高め、「スポーツのまち・かわさき」を推進します。



川崎国際多摩川マラソン

## 大規模スポーツ大会等の開催

45,233千円

- 等々力陸上競技場の新メインスタンドの供用開始に伴い、世界中が注目する国際陸上競技大会「ゴールデングランプリ川崎」を3年ぶりに開催し、市民が世界最高レベルの競技に触れる機会を増やすことで、スポーツに対する興味・関心を高めます。(新規)
- 26年度に引き続き、国内外のトップ選手が参加するトランポリン競技大会を開催し、トップアスリートの演技を間近で観る機会を提供します。



ゴールデングランプリ川崎

## ホームタウンスポーツの推進

36,058千円

- 川崎フロンターレをはじめとする、「かわさきスポーツパートナー」等と連携したスポーツによる川崎の魅力づくりを推進します。
- アメリカンフットボールを活用した地域活性化や青少年の健全育成等を推進します。



富士通フロンティアーズ

## こども本部

<予算額> 問い合わせ先:こども企画課 200-3733 内) 43101

**91,377,708千円** (対前年度比: +3.4%)

### <主な事業>

#### 認可保育所等の整備

**2,797,592千円**

○引き続き待機児童の解消に向けて、民間活力を活用しながら、認可保育所や小規模保育事業所の新設等を行うことにより、1,420人の受入枠の拡大に向けて整備を行います。

また、横浜市との協定に基づき、市境地域における認可保育所の共同整備を行います。

- ・認可保育所 22か所 1,325人分 (うち横浜市共同整備 1か所)
- ・小規模保育事業所 5か所 95人分 (新規)

#### 認可保育所等の運営

**30,601,435千円**

○公民の連携による安定的な保育所の運営と一時保育や全ての公立保育所における3歳以上児への主食提供の実施など、多様な保育サービスの提供の充実を図ります。(拡充)

- ・認可保育所 241か所 → 271か所 (30か所増)
- ・定員 20,325人 → 22,340人 (2,015人増)
- ・一時保育 50か所 → 59か所 (9か所増)

○新たに開始する地域型保育事業(家庭的、小規模、事業所内保育事業等)に係る給付を行います。(新規)

- ・57か所 474人

○保育士の確保と安定雇用のため、国と市で職員の処遇改善の

充実を図るとともに、障害児の受入促進のため、費用助成を充実します。(拡充)

- ・職員1人当りの処遇改善額 月額9,600円 → 17,100円 (7,500円増)
- ・障害児保育費加算の充実  
月額(軽度) 83,200円 → 104,000円 (20,800円増)  
(中度) 124,800円 → 166,400円 (41,600円増)  
(重度) 166,400円 → 208,000円 (41,600円増)



#### 認可外保育施策の充実

**4,033,128千円**

○川崎認定保育園の助成対象者数を拡充し、保育に欠ける児童の保護者負担を軽減します。(拡充)

- ・助成対象者 3,400人 → 4,171人 (771人増)
- ・横浜市と協定を締結したことにより、川崎市の児童が横浜保育室を利用する場合に、施設に対し運営費を助成するとともに、保護者に対し保育料補助を行います。

○多様な保育ニーズに対応するため、川崎市医師会と連携し、未整備区域へ病児・病後児保育施設の整備を進めます。(拡充)

- ・4か所(26年度) → 5か所(27年度) → 6か所(28年度)

○保育士の確保を図るため、認可外保育施設に勤務している保育士資格を有していない従事者を対象に、養成校の受講や通信教育等、資格取得に要する費用の一部を補助します。

○認可保育所又は小規模保育事業を目指す認可外保育施設に対して、改修等に要する費用の一部を補助します。

## 保育所職員の育成

5,764千円

- 県内の自治体が共同で運営する「保育士・保育所支援センター」において、潜在保育士や保育士資格取得見込者等に就職支援を実施するなど、保育士の人材確保を行います。
- 人材確保策として、就職説明会や就職支援セミナーの実施などにより、就職支援を行います。

## 利用者支援事業の実施

24,867千円

- 子ども又はその保護者に身近な場所である区役所窓口で専門職員を配置し、子育て家庭の個別ニーズを把握して、適切な施設・事業等の円滑な利用を支援します。

## 幼児教育の振興

3,553,065千円

- 子ども・子育て支援新制度へ移行する私立幼稚園及び認定こども園の施設型給付施設への給付を行います。(新規)
- 総合的な教育・保育の提供推進に向け、認定こども園の整備を行うとともに、改修等に要する費用の一部を補助します。
  - ・認定こども園の整備2か所60人
  - ・認定こども園の改修3か所
- 現行制度を継続する私立幼稚園に就園する園児の保育料等の補助を行い、幼児教育の振興を図ります。



## 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施

306,542千円

- 27年4月からの「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、制度を円滑に実施するため、子ども・子育て支援システムの運用や事務の一部委託化等により、市民サービスの向上と事務の効率化を図ります。

## 母子保健指導・相談

123,724千円

- 育児に対する負担感が大きい産後間もない母子を対象に、地域の助産所等の施設を活用して心身のケアや育児のサポートを行います。

## 小児医療費の助成（拡充）

3,808,438千円

- 子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入通院に係る医療費の自己負担分を助成します。また、通院助成の対象を28年度に小学校3年生まで段階的に拡大するため、27年4月から小学校2年生まで拡大します。

## 地域子ども・子育て活動支援助成モデル事業の実施（新規）

10,000千円

- 地域とのつながりをもって子育て支援の取組を行う団体等を育成するために、地域と連携して継続的かつ日常的に小学生の健全育成のための活動を行う団体等の取組に対して助成を行います。
  - ・1事業者につき1,000千円を上限に助成

# 経済労働局

<予算額> 問い合わせ先:庶務課 200-2320 内)28101

**31,619,834千円** (対前年度比:△10.9%)

<主な事業>

## 産業政策の展開 **221,128千円**

- 知的財産関連分野でのビジネス交流や人材育成支援を行います。
- オープンイノベーションを促進するため、小杉町二丁目地区のコンベンション施設の整備において、新たに内装工事を実施します。(29年度完成予定)

## 企業の海外展開支援 **58,988千円**

- 中国やASEAN地域等における展示会への出展やビジネスマッチングを実施し、企業の海外展開を支援します。
- 「川崎市海外ビジネス支援センター」(略称:KOBIS〈コブス〉)で、企業の海外展開支援のワンストップサービスを行います。

## 消費生活の安全を守る取組 **94,310千円**

- 消費生活相談と連携した効果的な啓発活動を、各種媒体を活用して推進します。(拡充)
  - ・インターネットトラブル等の若年者の被害に対して、消費者啓発キャンペーンを実施
- 様々な消費者トラブルの発生等に対応していくため、相談体制の充実を図ります。

## 事業者の活力を引き出す商業振興 **366,426千円**

- カワサキハロウィン等川崎駅周辺におけるイベント事業等に対し重点的に支援を行います。
- 市内商店街団体等の街路灯LED化、防犯カメラ設置に加えて、街路灯・アーチ撤去、モールやポイントカードシステム等の共同施設の整備に対し財政的支援をします。(拡充)

## 民間主導による観光振興 **153,094千円**

- 川崎市制記念多摩川花火大会を開催します。
- 観光協会や民間事業者等と連携し、新たな旅行商品等の開発支援や国内外へのプロモーション活動等を行い、市内観光の振興を図ります。
- 市民文化の創造と地域経済の活性化を推進するため、「かわさき市民祭り」を開催します。

## ものづくり産業の支援 **91,956千円**

- 中小企業の取引先開拓を支援するため、展示会の出展料補助や合同出展支援等を行います。
- 市内中小企業の優れた製品・技術を「川崎ものづくりブランド」に認定し、情報発信を行います。
- ものづくり集積地としての認知度を高めるための情報発信を行い、「住工共生のまちづくり」を進めます。
- 川崎国際環境技術展の開催や、行政と民間企業等とのネットワークである「かわさきグリーンイノベーションクラスター」の構築により、優れた環境技術の発信や海外への環境技術の移転を推進します。



川崎国際環境技術展

## 中小企業の成長促進

416,620千円

- ビジネスプランの作成やビジネスパートナーとの出会いの場の提供等の支援を実施します。
- 産学共同の研究開発や新技術・新製品の開発等を支援します。
- 多くの企業・福祉関連機関の参加による、新たな福祉製品の創出・活用を目的としたプロジェクトを推進するフォーラムの運営や、「かわさき基準（K I S）」認証製品の普及・販路開拓を行います。

## ナノ医療イノベーションセンターの運営支援（新規）

250,000千円

- 先端医療を広く普及・浸透させるための「ナノ医療技術」の研究及び研究成果の実用化を進める「ナノ医療イノベーションセンター」の運営を円滑に進めるため、立ち上げ期間における支援を行い、殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」におけるライフサイエンス分野の研究開発拠点の形成とオープンイノベーションの促進を図ります。



ナノ医療イノベーションセンター

## 産業イノベーションの創出

42,422千円

- 新川崎・創造のもり地区において、さらなる先端産業の集積を図るため、24年度に開設した「NANO BIC（ナノビック）」に続き、新たな施設整備に向けた取組を推進します。

## 中小企業の経営安定支援

27,938,368千円

- 各種資金を低利で融資する中小企業融資制度や信用保証料の補助等により、市内中小企業等の資金繰りの円滑化を図ります。
  - ・資金調達環境の変化等に対応するため、融資枠の見直しを行い小規模事業資金の増枠を実施

## 都市農業の振興

176,479千円

- 将来の川崎の農業を担う営農意欲の高い自主性・創造性に富んだ農業者の育成を図ります。
- 市内産農産物「かわさきそだち」を広め、地産地消の仕組みづくりに取り組みます。
- そ菜、果樹、花き等の地域課題に対応した試験研究及び技術指導を行います。
- グリーン・ツーリズムを推進し、都市農業及び地域の振興を図ります。
- 早野地区において、ハーブの活用を推進するとともに、これまでの取組や地域資源を活かし、地元活動団体と協働事業を行います。
- 黒川東地区の土地改良換地事業の促進のため、支援を行います。



©中本竹識  
かわさきそだちPRキャラクター  
菜果（さいか）ちゃん

## 雇用・労働施策の推進

324,514千円

- 産業の発展や市民生活の向上に不可欠な技術・技能の振興のため、「かわさきマイスター」の認定、技能啓発・継承、後継者育成、経済振興等を推進します。
- 就業支援室「キャリアサポートかわさき」における就業に関する個別相談、求人紹介や合同企業就職説明会の開催等による支援の充実を図るとともに、出産・育児等の理由で離職した女性等を対象に、託児サービスのある環境のもとでの就業支援を行います。
- 「若者サポートステーション」による、職業自立支援事業を推進します。（拡充）
  - ・高等学校と連携し、学校訪問による出張相談セミナーを通じた卒業後の無業化防止の実施

# 環境局

## <予算額>

問い合わせ先:庶務課 200-2375 内) 29101

22,860,770千円 (対前年度比: +7.5%)

## <主な事業>

### 国際環境施策の推進

24,162千円

○「グリーン・イノベーション推進方針」に基づく取組を着実に推進します。

- ・環境技術を活かしたグリーンイノベーションの取組の推進
- ・展示会への出展などによるグリーンイノベーションの取組の発信

### 地球温暖化対策の推進

137,255千円

○地球温暖化対策推進基本計画に基づく取組を着実に推進します。

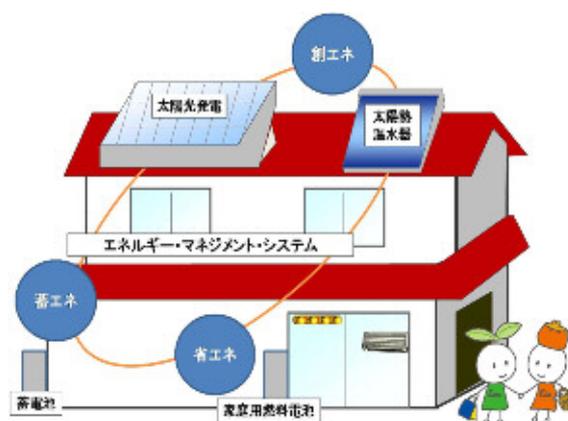
- ・CC川崎エコ会議など市民、事業者とのネットワークを活かした協働の取組の推進
- ・川崎メカニズム認証制度、低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの実施による低炭素技術の普及促進
- ・事業活動地球温暖化対策計画書報告書制度の実施などによる事業者の環境配慮の促進
- ・地球環境の保全に向けた新たな課題への対応としての気候変動適応策の検討

### 環境エネルギー施策の推進

79,010千円

○創エネ・省エネ・蓄エネの総合的な取組を推進するとともに、「市建築物における環境配慮標準」に基づき、市の率先した環境配慮に係る取組を推進します。

- ・再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）の活用による防災拠点等への自立分散型エネルギーの導入推進（新規）
- ・太陽光発電、家庭用燃料電池などの導入補助と合わせ、新築におけるエネルギー使用量等を管理する機器（HEMS）の普及を図るなど住宅の環境配慮の推進
- ・「市建築物における環境配慮標準」に基づく取組と公共施設への環境配慮型設備の率先導入



創エネ・省エネ・蓄エネのイメージ

### 公害防止対策の推進

172,737千円

○大気環境改善に係る取組を推進します。

- ・低公害、低燃費車の普及による自動車単体対策の推進
- ・産業道路の迂回促進による交通量・交通流対策の推進
- ・中小企業の自主的なVOC（揮発性有機化合物）削減対策の推進

## 分別収集の推進

1,145,057千円

- ごみの減量化・資源化に向けて、効果的・効率的な収集運搬体制の構築を図ります。
  - ・空き瓶、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装等、分別収集運搬業務委託の継続
  - ・空き缶・ペットボトル収集運搬業務の委託化を川崎区、幸区で開始



かわさき3R推進キャラクターかわるん

## 放射性物質対策の推進

281,563千円

- 放射性物質が検出されたごみ焼却灰について、安全な処分等に向けた取組を進めます。
  - ・放射性物質が検出されたごみ焼却灰の処分の実施
  - ・一時保管中のごみ焼却灰の処分等に向けた検討

## 資源化処理の推進

978,207千円

- 循環型・低炭素社会の構築に向け、資源物の適正かつ安定的な処理を進めます。
  - ・ミックスペーパー、プラスチック製容器包装の資源化処理委託の継続
  - ・空き缶、ペットボトル、空き瓶の資源化処理委託の継続
  - ・使用済乾電池、廃蛍光管の処理委託の継続

## 廃棄物処理施設等の整備

2,236,414千円

- 環境負荷の低減や、施設の維持管理経費の削減につながる3処理センター体制における施設整備を推進します。また、劣化が進行した廃棄物処理施設等を安定的に稼働させるための予防保全的な補修・整備を実施し、長寿命化を図ります。
  - ・浮島2期廃棄物埋立処分場の基幹的整備の継続
  - ・南部リサイクルセンターの基幹的整備に向けた生活環境影響調査の実施
  - ・王禅寺余熱利用市民施設の大規模改修

## 仮称リサイクルパークあさおの整備

4,462,300千円

- 循環型・低炭素社会の構築に向け、北部地域のごみ、資源物等の処理の拠点となる総合的施設を建設します。(27年度完成予定)
  - ・王禅寺処理センター資源化処理施設の建設及び健康とふれあいの広場の整備

## 橘処理センターの整備

142,726千円

- 3処理センター体制の安定的な運営に向け、橘処理センターごみ焼却施設及び資源化処理施設等を建設します。
  - ・橘処理センター建設に係る環境影響評価の実施及び橘処理センター解体・建設に向けた仕様書の作成や各種調査

# 健康福祉局

<予算額> 問い合わせ先: 庶務課 200-2615 内) 32101

**137,633,344千円** (対前年度比: +4.5%)

<主な事業>

**地域包括ケアシステムの構築に向けた取組(拡充) 一般会計 26,801千円  
介護保険事業特別会計 19,664千円**

○誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づき、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。

- ・ポータルサイトの新設など、医療・介護従事者等、多職種による情報の共有化の促進
- ・在宅医療サポートセンターの運営など、多職種連携による在宅医療提供体制の充実
- ・在宅医療に関する情報提供の充実

**生活保護受給者・困窮者に対する自立支援の取組 692,691千円**

- 福祉事務所に配置している自立支援相談員による生活保護世帯の就労支援を推進します。
- 全区(8か所)で、生活保護受給世帯の子どもに対する学習支援を実施します。
- 「生活自立・仕事相談センター」(だいJOBセンター・川崎区)において、対象者への寄り添い型支援の実施、関係窓口との連携・引継を行うことにより、相談者の社会的・経済的自立につなげます。
- ホームレスの実情に応じた自立支援等の施策を実施します。

**生活保護費の支給 59,755,642千円**

- 生活に困窮する市民に対して、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障することを目的に、生活保護費を支給します。

**生涯現役対策等の取組の推進 一般会計 2,382,257千円  
介護保険事業特別会計 48,738千円**

- 要介護度の改善を図った場合等に、事業者へ報償、表彰、公表等のインセンティブを付与するなど、介護のサービスの質を評価する仕組みを検討します。(拡充)
  - ・モデル事業協力施設(事業所)を16施設から100施設に拡大
- 認知症のチェックリストや基礎知識、相談機関等を掲載したパンフレットを新たに作成し、世界アルツハイマーデーを記念したイベントを新規に開催するなど、認知症の普及啓発や早期発見の取組をより一層進めます。(拡充)



介護予防いきいき大作戦  
マスコットキャラクター「長寿郎」

**高齢者の多様な居住環境の整備 1,620,605千円**

- 要介護高齢者の在宅生活を支えるサービスの中核となる「小規模多機能型居宅介護」の整備等を進めます。また、「小規模多機能型居宅介護」の機能に医療的ケアを行う訪問看護を追加した「看護小規模多機能型居宅介護」の整備等を進めます。
- 介護の必要性が高い要介護高齢者の将来的な増加を踏まえ、特別養護老人ホームの整備を進めます。(28年度に1か所、29年度に2か所開所予定)

## 精神障害者医療・保健福祉対策の推進 193,260千円

- 災害時等の緊急時においても、専門的な心のケアに関する対応が円滑に行われるよう、D P A T（災害派遣精神医療チーム）を新たに整備します。（新規）
- 「川崎市自殺対策総合推進計画」に基づき、自殺の危険度の高い対象者や若年層への対策の推進、ゲートキーパーの育成、関係機関との連携強化等を図ります。

## 障害を理由とする差別の解消に向けた取組（新規） 317千円

- 28年4月の障害者差別解消法の施行に向け、制度の周知・広報、障害を理由とした差別に関する相談等に係る協議等を目的とする障害者差別解消支援地域協議会の設置等を検討します。

## 障害者スポーツ施策に係る推進体制の構築（新規） 1,000千円

- 東京オリンピック・パラリンピックを見据え、障害者スポーツのさらなる普及・発展を目的として、市障害者スポーツ協会の設立に向けた取組を実施します。

## 障害者通所施設の整備 814,166千円

- 特別支援学校等卒業生対策として日中活動の場を確保することで、安心して自立した地域生活を送れる環境づくりを推進するため、障害者通所施設の計画的な整備を行います。

## 障害者入所施設の整備（拡充） 14,330千円

- 入所機能のほか、障害のある方の地域生活を支える拠点機能も備えた施設として、障害者入所施設を「福祉センター跡地施設」（川崎区）に併設する方向で検討します。

## 健康危機管理体制の整備 173,923千円

- 感染症発生に備え医療機関と連携して、まん延を防ぐ取組を進めます。また、新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく対策を進めます。

## 予防接種による感染症予防の推進 3,693,582千円

- 各種定期予防接種を実施し、感染症の予防及びまん延の防止を図ります。

## 救急医療体制づくりの推進 1,288,163千円

- 夜間・休日における一次救急体制の維持・整備、周産期医療を含めた救急搬送患者の円滑な受入体制の確保等を図ります。

- 災害時における医療供給体制が確実に機能するよう取組を実施します。



## がん検診の取組の強化 1,889,898千円

- 政令市トップレベルのがん検診受診率をいち早く達成するための取組を実施します。（拡充）
  - ・個別の受診勧奨等を実施できるようにするための、成人検診業務管理電算システムの開発
  - ・特定健診未受診者への電話による個別受診勧奨を実施するための、がん検診・特定健診等コールセンターの開設
- 子宮がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診について、一定の年齢の市民に対してクーポン券を発行し、自己負担分を無料化することで受診率の向上を図ります。

## 動物愛護センターの整備 15,022千円

- 動物愛護センターを移転して整備するため、施設の基本設計等を進めます。

